

# 姉妹都市ウエストコビナ市との交流事業

## 第9回大田原市中学生交流事業報告

市内の中学3年生12名を姉妹都市(※)であるウエストコビナ市(アメリカ)へ派遣する「第9回大田原市中学生交流事業」を、去る8月3日(水)から12日(金)までの10日間の日程で実施しました。この事業は、これからの時代に求められる国際性豊かな人材の育成を図るため、アメリカの歴史・文化・生活習慣など体験を通して研修することにより、理解を深め、異文化と国際感覚を身に付けることを目的としています。さらには、自然と文化を尊重し、郷土や社会に貢献し得る実践力と創造性に富む人づくりを目的としています。

### ■出発までの事前研修

現地での活動内容について5回にわたり事前研修会を開催。7月26日(火)には、出発結団式を行い、派遣生徒たちが抱負を述べ、市長から激励の言葉をいただきました。



派遣された12名の生徒の皆さんと関係者



### ■現地での活動

【1日目、3日(水)】

約10時間のフライトの後ロサンゼルス空港に到着し、佐藤芳江南加栃木県人会長(黒羽出身)と神村あや日系人コミュニティセンター会長に迎えられ、活動拠点となる日系人コミュニティセンターに向かいました。

ウエルカムパーティーでは、カリフォルニア州議会議員をはじめウエストコビナ市関係者、コミュニティセンター関係者、7組のホストファミリーなどの皆さまによる盛大な歓迎を受けました。

### ■現地での活動

【2日目、4日(木)】

ウエストコビナ市役所表敬訪問  
 ○ビッグリーグドリームス見学  
 ウエストコビナ市役所への表敬訪問を行い、議場の見学をしながら市の概要について説明を受けました。続いて、隣接する警察署や近くの消防署で体験を含め案内を受けました。その後、市内にある各種スポーツが体験できるビッグリーグドリームスを見学しました。



ウエストコビナ市役所表敬訪問の際、議場で市の概要について説明を聴く生徒の皆さん

### ■現地での活動

【3日目、5日(金)】

○ベニスビーチ見学  
 ○大リーグ観戦(エンゼルス対マリナーズ)  
 日中はベニスビーチを訪れました。カリフォルニアの空気を感ぜながら、音楽パフォーマンスやストーリーボードなどに触れつつ見学しました。

夜はエンゼルススタジアムで野球を観戦し、日本人選手の活躍などを目の当たりにしながら、観客としてスタジアムの一体感を味わいました。

### ■現地での活動

【4・5日目、6日(土)・7日(日)】

○ホストファミリーとの自由行動  
 派遣生徒たちはそれぞれのホストファミリーにテーマパークやビーチへ連れて行っていただき交流を深めました。

### ■現地での活動

【6日目、8日(月)】

○ナッツベリーファーム見学  
 アメリカ西部開拓時代の歴史を学べるテーマパークで、終日楽しみながら歴史と文化を学習しました。

### ■現地での活動

【7日目、9日(火)】

○カリフォルニアサイエンスセンター見学  
 ○リトルトキー、オルベラストリート見学  
 カリフォルニアサイエンスセンターでは、さまざまな科学技術を遊具やゲームで体験しながら学びました。その後、リトルトキーで日本人街を、ロサンゼルス発祥の地とされるオルベラストリートをそれぞれ見学し、日系人やロサンゼルス市の歴史の一端を垣間見ることができました。

■現地での活動  
【8日目、10日(水)】

○オートリーミュージアム見学  
○ハリウッド見学  
○フェアウェルパーティー

西部開拓、ゴールドラッシュの歴史を学べるオートリーミュージアムで、当時を物語る展示物を鑑賞し、砂金採りを体験しました。映画で有名なハリウッドの街も見学しました。フェアウェルパーティーでは、本事業のきっかけとなった佐藤了氏(黒羽出身)の料理をいただきながらの歓談となりました。生徒たちはホストファミリーに対し英語でお礼の言葉を述べ、出発前に練習したダンスや日本舞踊を披露し、参加者全体で与一音頭も踊りました。



オートリーミュージアムで砂金採りに挑戦

■現地での活動  
【9・10日目、11日(木)・12日(金)】

生徒たちはお世話になったホストファミリーや関係者に別れを告げ、8月11日(木)アメリカを離れ、8月12日(金)に数多くの思い出とともに帰国しました。

■帰国後1カ月が経ち

9月16日(金)に行われた帰国報告会で、派遣生徒たちは現地で体験

したことや感じたことなどを市長をはじめ各中学校長に報告しました。

これらの貴重な経験により、生徒たちには感謝の気持ちが増え、これからの考え方や活動、将来の進路により刺激になるものと思います。また、この体験を学校や地域に還元してくれることを期待しています。

市は、今後もこの事業を継続し、次代を担う青少年を育成するとともに、本市とウエストコビナ市との友好親善交流を図っていきます。

\*\*\* 姉妹都市「ウエストコビナ市」 \*\*\*

位置：アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス郡(ロサンゼルス市から東へ約30km)

時差：マイナス17時間(夏時間ではマイナス16時間)

気温：夏の最高気温は28℃前後、冬の最低気温は10℃前後  
年間平均気温は23℃前後

降雨量：年間300～350mm(冬が雨季で、夏が乾季)

誕生：1923年/面積：約44.03km<sup>2</sup>

人口：約106,100人/公立学校：小中学校17校、高校3校

市の予算：約\$85.2million(約65億円)

市の花：ムラサキクンシラン(Lily of the Nile)

市の木：トベラ(Diamond Leaf Pittosporum)

ホームページ：http://www.westcovina.org/

■問い合わせ

生涯学習課生涯学習係  
TEL(98)7115

大田原市菊花展出品者募集

今年も、産業文化祭で「菊花展」を開催します。市の花「菊」を栽培し、菊花展に展示発表する方を募集します。



●展示期間  
10月29日(土)・30日(日)

※大田原市産業文化祭開催期間

●応募期限  
10月15日(土)

●応募方法  
詳しくは大田原市菊花展実行委員会までお問い合わせください。

■問い合わせ

大田原市菊花展実行委員会  
会長 小林 政男  
TEL(28)1416

地震により住宅に被害を受けた方へ

地震により住宅に著しい被害を受けた「世帯」に対し、生活を再建するために支援金の給付を行う制度があります。

●対象となる「被災世帯」

- 1 住宅が全壊した「世帯」
- 2 住宅が半壊し、やむを得ず解体した「世帯」または住宅の敷地に被害が生じ、その住宅をやむを得ず解体した「世帯」
- 3 避難勧告が発令されるなど、災害による危険な状態が継続し、住宅に居住不能な状態が長期間継続している「世帯」
- 4 住宅が大規模半壊した「世帯」

●支援金の支給額

支給額は、次の二つの支援金の合計額となります。

- ① 住宅の被害程度に応じて支給する支援金(基礎支援金)
- ② 住宅の再建方法に応じて支給する支援金(加算支援金)

【支援金の支給額】

対象被災世帯	基礎支援金	加算支援金		合計
		建設・購入	補修	
住宅が全壊 (1, 2, 3の場合)	100万円	建設・購入	200万円	300万円
		補修	100万円	200万円
		賃借	50万円	150万円
住宅が大規模 半壊 (4の場合)	50万円	建設・購入	200万円	250万円
		補修	100万円	150万円
		賃借	50万円	100万円

※世帯人数が1人の場合は、各該当欄の金額の3/4の額  
(例)「大規模半壊」で「補修」の場合  
(基礎)37万5千円+(加算)75万円=(合計)112万5千円

●申請期間

- ① 基礎支援金 災害発生から13月以内(平成24年4月10日まで)
- ② 加算支援金 災害発生から37月以内(平成26年4月10日まで)

■申請・問い合わせ

総務課総務防災係  
TEL(23)1111